

中間評価
令和2年9月

アンケート集計による評価

- 1 学校運営の充実
- 2 学習指導の充実
- 3 進路指導の充実
- 4 生徒指導の徹底
- 5 教育環境の整備
- 6 部活動の充実と振興

福島県立喜多方東高等学校

令和2年度 外部及び内部学校評価の集計結果(9月)

●中間学校教育評価票(アンケート)集計対象と回収状況

アンケート対象	対象人数	配付数	回収数	回収率	備 考
生徒	180	178	175	98.3%	
保護者	180	178	120	67.4%	
教職員	21	21	21	100.0%	

●中間評価

★1 学校運営の充実 **重点目標4：信頼される学校づくり**

◇アンケート評価：【総合=3.9】

- ・ P T A活動を充実させ、保護者との連携に努める。…………… (教員13 4.1)
- ・ 生徒が地域のボランティア活動等において活躍することを奨励し、地域社会との連携に努める。…………… (教員14 3.7)
- ・ W e bページ等を活用し、外部への積極的な情報発信に努める。…………… (教員15 3.2)
- ・ 安全で安心な学校生活の保証と、学校環境の整備に努める。…………… (教員16 4.1)
- ・ 喜多方東高校にはよい校風がある。…………… (生徒7 3.9)
- ・ 学校の施設・設備は学習環境面で満足できる。…………… (生徒12 4.1)
- ・ 先生は、教育目標や教育方針をわかりやすく伝えてくれる。…………… (保護者1 4.0)
- ・ 先生は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる。…………… (保護者2 4.2)
- ・ 本校の施設・設備は学習環境面で満足できる。…………… (保護者6 4.1)
- ・ 本校のP T A活動は活発である。…………… (保護者7 3.7)

◇総評： 教員の「P T A活動を充実させ、保護者との連携に努める。」が昨年 4.3→4.1 と下がり、保護者の「本校のP T A活動は活発である。」は昨年 3.8→3.7 も下がっている。昨年まではP T Aの方々には、P T A総会を始め評議員会、朝のあいさつ運動、P T A進路学習会、公開文化祭のP T A食堂への参加など、忙しい中ご参加・ご協力をいただいていた。今年は新型コロナウイルス感染症対策のためにP T A総会やほとんどのP T A活動が自粛を余儀なくされたため、P T A活動が活発ではないと評価された方が多かったと推測される。次年度は統合高校となるので、P T A総会や学年会を始め、P T A活動への積極的な参加を呼びかけたい。

教員の「W e bページ等を活用し、外部への積極的な情報発信に努める。」が昨年 2.9→3.2 と、昨年よりは僅かではあるが上がったが、それでもまだ低い。また、学校が家庭に配布した案内等のプリント等がきちんと保護者にまで届いていないことが考えられるので、きちんと学校が発信した情報が家庭に届くようにするための手立てを講ずる必要があると思われる。

生徒の「学校の施設・設備は学習環境面で満足できる。」4.1 や、保護者の「本校の施設・設備は学習環境面で満足できる。」4.1 からわかるように、施設面については高評価である。保護者の「学校は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる。」が昨年 3.9→4.2 と昨年よりは上がった。担任を始め、先生方の日頃の保護者とのやり取りが評価されたと思われる。学習・生活・進路・部活動の指導等において「面倒見のよい学校」であることが求められている。生徒が「本校にはよい校風がある。」と胸を張ることができ、「本校に入学してよかったです。」と思えるように、さらに努力していかねばならないと思う。

★2 学習指導の充実 重点目標1：基礎学力の向上

◇アンケート評価：【総合=4.0】

- ・分かりやすい授業の実践に努める。 (教員 1 4.3)
- ・基礎力診断テストや基礎力テストを有効に活用し、生徒の基礎学力の向上を図る。 (教員 2 4.1)
- ・週末課題を活用し、家庭における学習習慣の定着を図る。 (教員 3 4.0)
- ・定期的な研修や授業評価により教科指導力の向上に努める。 (教員 4 3.6)
- ・授業に真剣に取り組んでいる。 (生徒 2 4.2)
- ・朝の読書にきちんと取り組んでいる。 (生徒 3 3.9)
- ・授業はわかりやすく充実している。 (生徒 9 4.0)
- ・子どもは学習活動に意欲的に取り組んでいる。 (保護者 9 4.0)

◇総評： 「基礎学力の向上」は今年度の学校運営ビジョンの重点目標1に掲げられ、教員が最も力を注ぐべき課題である。この分野の総合評価は4.0であり、ほぼ例年通りの評価結果となった。「分かりやすい授業の実践に努める」は、教員4.3であり、「授業はわかりやすく充実している」の生徒4.0で少し開きがあるが、概ね授業に関しては高い評価であると考えられる。ただ、「定期的な研修や授業評価により教科指導力の向上に努める。」が昨年3.9→3.6と下がった。第1回研究授業週間(6/8～6/12)で研究授業を行った先生方が5名と少なめだったので、第2回研究授業週間(11/9～11/13)では、未実施の先生方に実施してもらいたい。「週末課題を活用し、家庭における学習習慣の定着を図る」は昨年3.6→4.0と上がった。高校生としてふさわしい家庭での学習習慣を身につけさせることができることをひき続き求められる。

★3 進路指導の充実 重点目標2：進路希望の実現

◇アンケート評価：【総合=3.9】

- ・進路ガイダンスや進路講演会の実施、さらに定期的な面談等を通して、進路意識の高揚に努める。 (教員 5 4.2)
- ・インターンシップ及び各種職業体験を活用して生徒の職業理解を支援し、望ましい勤労観の育成に努める。 (教員 6 3.3)
- ・保護者対象の進路学習会の実施により、保護者と連携した進路指導の推進に努める。 (教員 7 3.5)
- ・進路だよりの定期的な発行により、適切な進路情報の提供に努める。 (教員 8 4.2)
- ・先生は進路についての情報をよく知らせてくれる。 (生徒 11 4.3)
- ・先生は進路についての情報を家庭へ適切に提供してくれる。 (保護者 3 4.0)

◇総評： 教員の「進路ガイダンスや進路講演会の実施、定期的な面談による進路意識の高揚」、生徒の「先生は、進路についての情報をよく知らせてくれる」、保護者の「学校は、進路についての情報を家庭へ適切に提供してくれる」は昨年度と同様、高評価を維持している。生徒や保護者への進路情報の提供は、主に進路だよりによって行っているが、生徒と保護者のニーズに合うものとなるよう更に工夫するとともに、ホームページを活用して最新情報を随時アップしたいと考えている。

インターンシップや保護者対象進路講演会の低評価は、新型コロナ感染拡大防止の観点から中止を余儀なくされたためと考えられる。教員6、7はC、D評価や無答が半数に及んだ。インターンシップは校内企業説明会に変更して実施する予定であるが、今後、コロナ禍での進路行事のあり方について検討する必要がある。

★4 生徒指導の徹底 重点目標3：豊かな心と健やかな体の育成

◇アンケート評価：【総合=4.1】

- ・「挨拶・身だしなみ・言葉づかい・時間厳守・整理整頓」を重点的に指導し、基本的な生活習慣の定着を図る。………（教員9 4.2）
- ・自他尊重の意識を醸成し、法令や規則の遵守と規範意識の向上に努める。………（教員10 4.0）
- ・教育相談体制を充実させ、生徒の心の安定を図る。……………（教員11 4.3）
- ・集団意識を形成し、充実感・達成感が得られるよう部活動の活性化に努める。………（教員12 3.9）
- ・部活動に積極的に取り組んでいる。……………（生徒4 3.4）
- ・時と場に応じた言葉遣いをするなど、礼儀をわきまえた行動をしている。………（生徒5 4.4）
- ・服装や頭髪など、校則を守って学校生活を送っている。……………（生徒6 4.4）
- ・学校は悩みや相談に親身になって応じてくれる。……………（生徒10 4.0）
- ・先生は、生徒の間違った行動について適切に指導している。……………（保護者5 4.2）
- ・子どもは積極的に部活動に取り組んでいる。……………（保護者10 3.9）

◇総評： 「基本的な生活習慣の確立」、「法令や規則の遵守と規範意識の向上」については、特に注意し改善すべき点と捉え、教職員全員の共通理解を図りながら、計画的・継続的に行ってきました。服装・頭髪指導の様子や、遅刻指導の様子などを昨年度と比較して、かなり落ちていた雰囲気で学校生活を過ごしている印象である。しかし、コロナの関係でマスクを着用していてわかりづらいが、化粧や色付きのリップクリームを使用している生徒も一部みられる。また、ピアスの穴を開けている生徒も数名いるので継続して指導している。制服では、女子生徒がスカートを捲り短くしているのが目立つので、今後も引き続き指導していく。一方で課題となっている「悩み・相談に対する対応」であるが、本校ではカウンセリングを希望する生徒が多いにもかかわらず、予約が取りにくい状況が続いている。カウンセリングの相談内容は、対人関係や家庭の問題に関するものが多い。対人関係のトラブルの原因としては、生徒の価値観の多様化、感情のコントロールがうまくできない、コミュニケーション不足等がある。円滑な対人関係を築くためにスクールカウンセラー（以下SC）からカウンセリングを受けて関係改善を目指している。また、家庭に関する相談については、スクールソーシャルワーカー（以下SSW）や関係機関との連携が必要であると強く感じる。中学校から家庭環境に関しての相談が継続している生徒もいて、今後も、SCやSSW、関係する教職員と協力しながら教育相談のありかたについて検討していきたい。

★5 教育環境の整備

◇アンケート評価：【総合=4.1】

- ・安全で安心な学校生活の保証と、学校環境の整備に努める。……………（教員16 4.1）
- ・学校の施設・設備は学習環境面で満足できる。……………（生徒12 4.1）
- ・本校の施設・設備は学習環境面で満足できる。……………（保護者6 4.1）

◇総評： 教育環境の整備について、昨年度6月より教室へのエアコンが導入されたことで生徒、教員とともに快適に学習することができた。また暑い日が多くなったこともあり熱中症予防につながった。ただ、全ての教室にエアコンが整備されたわけではなく、扇風機を配備した教室でも、冷風ではなく熱風が送られて授業に集中できないという時期があった。次年度統合となる新しい学校では、全ての教室にエアコンが整備されていることを期待したい。清掃については、日々の清掃活動が丁寧に行われており、今後も継続していきたい。ただ教員が少ないので、一部の先生の監督する箇所を増やすことになった。教員がいなくても、学校のために清掃ができる生徒が増えて

いくきっかけになればと思う。部活動で利用することの多い外トイレについては、部活動による輪番制にして対応しているが、定期的にチェックをしていきたいと思う。また保健委員会では、定期的なモップ洗いを行ったり、清掃用具の交換を定期的に行ったりするなど、清掃環境の整備に向けて活動することができた。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、パーティションを導入した。主に情報処理室であるが、隣り合う生徒同士の飛沫拡散防止に役立っていると思われる。

★6 部活動の充実と振興

◇アンケート評価：【総合=3.7】

- ・集団意識を形成し、充実感・達成感が得られるよう部活動の活性化に努める。……… (教員12 3.9)
- ・部活動に積極的に取り組んでいる。…………… (生徒4 3.4)
- ・子どもは積極的に部活動に取り組んでいる。…………… (保護者10 3.9)

◇総評： 昨年度の入学生が76名（内男子16名）、今年度の入学生が64名（内男子16名）であった。新型コロナウイルス感染症対策のために部活動が再開されたのが6月からになった。インターハイを始め各種大会が中止となり、3年生の引退も部活ごとバラバラとなった。また、3年生引退後の各部での選手不足は深刻であり、単独でチーム編成が出来る部が多くはない。次年度統合する喜多方高校と合同練習を行い、今後の大会は合同チームで出場する部活も増えてきている（卓球女子、バスケットボール、バレーボール）。存続する運動部が8部、文化部が2部で、運動部偏重の体制となり、運動が苦手な生徒に対する受け皿が十分ではなくなった。このことが、生徒評価の点数が伸びないことの一因になったと考えられる。

令和2年度 学校評価票(生徒用)集計結果

在籍生徒数【180】

配付数【178】

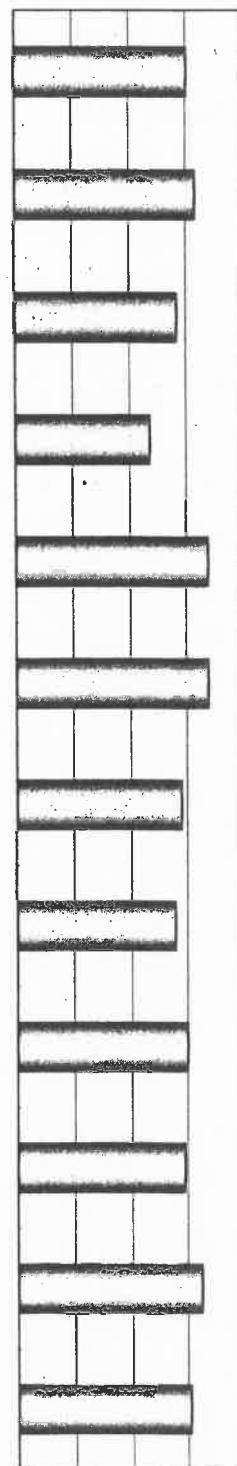
アンケート回収日 R2.8.28

回収数【175】

回収率【98.31%】

内 容	中間評価					
	A (5)	B (4)	C (2)	D (1)	無答	平均
1 私は学校生活が楽しい。	68	79	20	8	1	4.02
2 私は授業に真剣に取り組んでいる。	69	87	18	1	1	4.17
3 私は朝の読書にきちんと取り組んでいる。	79	49	35	12	1	3.85
4 私は部活動に積極的に取り組んでいる。	63	45	26	41	1	3.36
5 私は時と場に応じた言葉遣いをするなど、礼儀をわきまえた行動をしている。	85	82	6	2	1	4.38
6 私は服装や頭髪など、校則を守って学校生活を送っている。	99	62	13	2	1	4.38
7 私は喜多方東高校にはよい校風があると感じる。	50	94	27	4	1	3.91
8 私はわからないことについて、先生方に質問しやすいと感じる。	52	83	32	8	1	3.79
9 先生はわかりやすい授業を行っている。	56	92	24	2	1	4.01
10 先生は悩みや相談に親身になって応じてくれる。	58	89	25	5	1	3.96
11 先生は進路についての情報をよく知らせてくれる。	81	77	14	3	1	4.25
12 学校の施設・設備は学習環境面で満足できる。	58	95	18	4	1	4.06

グラフ



1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

令和2年度 学校評価票(保護者用)集計結果

在籍生徒数【180】

配付数【178】

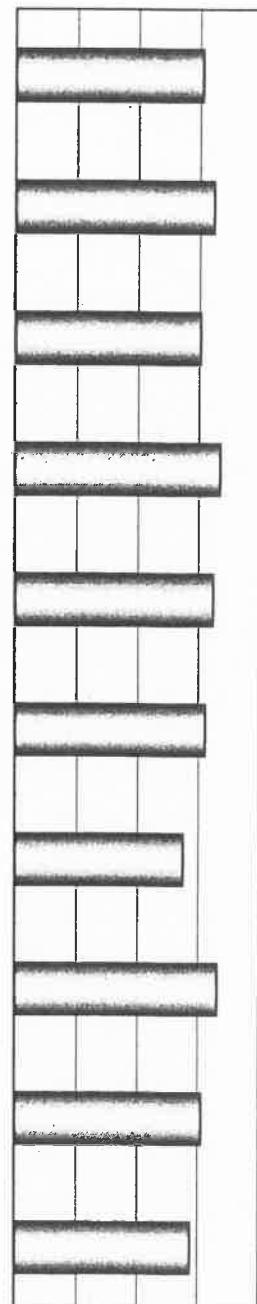
アンケート回収日 R1.8.30

回収数【120】

回収率【67.42%】

内 容	中間評価						平均
	A (5)	B (4)	C (2)	D (1)	無回答		
1 先生は教育目標や教育方針をわかりやすく伝えてくれる。	31	72	10	2	5	4.04	
2 先生は子どものことについて適切に相談に応じてくれる。	42	70	7	0	1	4.24	
3 先生は進路についての情報を家庭へ適切に提供してくれる。	33	71	14	1	1	4.02	
4 先生は子どもの能力や努力を適切に、また公平に評価している。	52	62	4	1	1	4.34	
5 先生は生徒の間違った行動について適切に指導している。	46	64	6	2	2	4.24	
6 本校の施設・設備は学習環境面で満足できる。	31	79	9	0	1	4.11	
7 本校のP T A活動は活発である。	18	76	20	3	3	3.74	
8 子どもは楽しい学校生活を送っている。	52	61	7	0	0	4.32	
9 子どもは学習活動に意欲的に取り組んでいる。	38	67	14	1	0	4.06	
10 子どもは積極的に部活動に取り組んでいる。	49	43	14	12	1	3.87	

グラフ



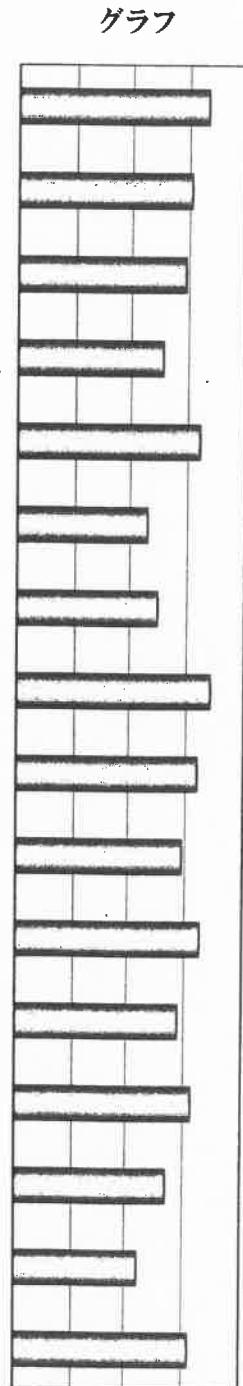
1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

令和2年度 学校評価票(教職員用)集計結果

アンケート回収日 R2.8.28

【配付21】 【回収21】 【回収率100%】

重 点 目 標	今年度の努力事項	中間評価					
		A (5)	B (4)	C (2)	D (1)	無答	平均
基礎学力の向上	1 分かりやすい授業の実践に努める。	7	14				4.33
	2 基礎力診断テスト・基礎力テストを有効に活用し、生徒の基礎学力の向上を図る。	5	14	2			4.05
	3 週末課題を活用し、家庭における学習習慣の定着を図る。	5	13	3			3.95
	4 定期的な研修や授業評価により教科指導力の向上に努める。	1	15	5			3.57
進路希望の実現	5 進路ガイダンスや進路講演会の実施、さらに定期的な面談等を通して、進路意識の高揚に努める。	4	15			1	4.21
	6 インターンシップ及び各種職業体験を活用して生徒の職業理解を支援し、望ましい勤労観の育成に努める。	1	7	5		6	3.31
	7 保護者対象の進路学習会の実施により、保護者と連携した進路指導の推進に努める。	1	8	2	1	7	3.50
	8 進路だよりの定期的な発行により、適切な進路情報の提供に努める。	8	11			1	4.42
豊かな心と健やかな体	9 「挨拶・身だしなみ・言葉づかい・時間厳守・整理整頓」を重点的に指導し、基本的な生活習慣の定着を図る。	6	13	1		1	4.20
	10 自他尊重の意識を醸成し、法令や規則の遵守と規範意識の向上に努める。	5	12	3		1	3.95
	11 教育相談体制を充実させ、生徒の心の安定を図る。	7	11	1		1	4.26
	12 集団意識を形成し、充実感・達成感が得られるよう部活動の活性化に努める。	6	9	4		1	3.89
信頼される学校づくり	13 P T A活動を充実させ、保護者との連携に努める。	4	11	1		4	4.13
	14 生徒が地域のボランティア活動等において活躍することを奨励し、地域社会との連携に努める。	4	9	3	1	3	3.71
	15 W e bページ等を活用し、外部への積極的な情報発信に努める。	1	10	8		1	3.21
	16 安全で安心な学校生活の保証と、学校環境の整備に努める。	4	14	1		1	4.11



1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

令和 2 年度 努力目標の中間評価

- 1 各 部 ○教 務 ○進路指導 ○生徒指導
- 保健厚生 ○図 書

- 2 各学年 ○1 学 年 ○2 学 年 ○3 学 年

- 3 各教科 ○国 語 科 ○地歴公民 科 ○数 学 科
- 理 科 ○保健体育 科 ○芸 術 科
- 英 語 科 ○家 庭 科 ○商 業 科

令和2年度 部・学年・教科 努力目標等の中間評価

(教務部)

努力目標	達成度（5段階）	中間反省と今後の取り組み・課題
1. 基礎学力の向上	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校での既習事項の学び直しを含めた、「わかりやすい授業」を実践する。 ○国・数・英の「週末課題」により家庭学習習慣の定着を図る。 ○毎日の「朝の読書活動」を行う。 →「週末課題」は、週末に家庭で学習するべき課題であることを確認し、家庭での学習習慣の定着を図る必要がある。提出率を向上させるためには、教科担当や担任、部活動顧問の連携が必要である。
2. 教職員研修の充実	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ○アクティブラーニング等に関する定期的な研修と、授業評価を実施する。 →学校訪問では11名、研究授業実施週間では5名の先生方に指導案の作成および授業を公開して頂いた。研究授業週間などの際は、互見授業を行い、それぞれの教科指導力の向上に努めてほしい。
3. 開かれた学校づくり	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ○P T A活動を充実させる。 ○各家庭・同窓会・地域と連携しながら、生徒の活動を支援する。 →新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、P T A総会を始め評議員会、P T A進路学習会、公開文化祭のP T A食堂など、多くの会議・行事が中止（書面による決議）または縮小となつたが、管理職・P T A会長と相談しながら可能な範囲で実施した。今後についても同様。
4. 学習環境の整備	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ○学校内外の環境整備に努める。 ○防火管理体制を確立させ、安全教育の充実に努める。 →同様に、管理職と相談しながら可能な範囲で実施している。次年度の喜多方高校との統合に向け、環境整備・引っ越しの準備に取り組んでいく。春の避難訓練は中止したが、秋の避難訓練は、対策を取った上で実施する。

令和2年度 部・学年・教科 努力目標等の中間評価

(進路指導部)

努 力 目 標	達成度（5段階）	中間反省と今後の取り組み・課題
1. 3年間を見通した系統的キャリア教育の実施	1 2 ③ 4 5	<p>①進路希望調査は予定通り実施。</p> <p>②3年生の具体的な進路希望を把握できた。</p> <p>③新型コロナの影響で第1回進路講演会は第1学年のみでの実施になった。</p> <p>④適性検査・就職適正検査は今後実施予定。</p>
2. 進路目標実現に向けた学力の養成と基本的学习習慣の確立	1 2 ③ 4 5	<p>①記録ノートやポートフォリオを活用して生活リズムの確立と主体的な学習習慣の確立に向けた指導を継続している。</p> <p>②基礎力診断・実力診断テストを中心に基礎学力養成の指導を実施している。</p> <p>③面接、小論文・作文指導について、今後全職員で対応していく。</p> <p>④新入試に対応した指導を実施。</p>
3. 保護者との連携・協力	1 2 ③ 4 5	<p>①就職者保護者対象説明会は実施。保護者対象進路学習会は新型コロナの影響で実施できなかつた。</p>
4. 適切な進路情報の提供	1 2 ③ 4 5	<p>①求人情報をはじめとした情報を速やかに発信した。</p> <p>②各種体験・講習会等への参加を呼びかけ、各自の進路活動を支援できた。</p> <p>③進路相談室を活用している。</p> <p>④進路便りの定期発行を継続している。</p>

令和2年度 部・学年・教科 努力目標等の中間評価

(生徒指導部)

努 力 目 標	達成度 (5段階)	中間反省と今後の取り組み・課題
1 基本的な生活習慣の確立	1 2 ③ 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみに関する意識を高めるため、先生方のご協力によって、指導の徹底が図られてきている。しかし、頭髪やスカートの丈、靴下の長さなど、特に女子の頭髪・服装は継続的な指導が必要である。また、色付きのリップクリーム使用者とピアスの穴をあけた生徒が増えており、今後も注意が必要である。 ・遅刻に関しては昨年と比較すると減少傾向にある。常習化している一部の生徒への指導を検討し、早急に改善させたい。
2 規則の遵守とマナーの指導	1 2 ③ 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのところ特別指導が2件発生している。いずれもSNSでの不適切な行為であり、個人情報の流出もあった。スマホの使い方(マナー)に注意させたい。このほかに金銭強要が1件あり、自分の身自分で守る必要があることを理解させたい。また、規範意識を高めたり、交通安全に対する意識を十分に持たせていきたい。 ・校内での自転車の盗難はないが、駐輪の際の施錠や二重ロックの徹底など、生徒に危機意識を持たせたい。油断して施錠していない自転車が増えている。
3 生徒理解に基づく教育相談の推進	1 2 3 ④ 5	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みを持つ生徒は増加傾向にある。自己中心的な考え方やコミュニケーション能力の不足による、友人関係の問題や、家庭環境の問題などがほとんどであり、解決には多くの時間と専門的知識を必要とするケースもある。養護教諭、スクールカウンセラーの負担増とならないよう、担任と連携しながら生徒指導部全体で対応したい。 ・特別支援教育推進委員会の調査を元に、情報交換会を実施し、共有化に努めた。今後、学年毎の教科担当者会の開催や、クラス担任との面談内容など、必要と思われる情報については、積極的に共有する機会を設けたい。
4 部活動の充実	1 2 ③ 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・統合後の部活動のあり方について、検討を重ねている。運動部では新人チームになってから、合同で練習したり大会に参加したり、文化部も合同練習をするなど、来年に向けて工夫した活動をしている。

令和2年度 部・学年・教科 努力目標等の中間評価

(保健厚生部)

努力目標	達成度（5段階）	中間反省と今後の取り組み・課題
1. 生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、その成果の確保に努める。	1 2 3 (4) 5	<ul style="list-style-type: none"> 各種検診の実施にあたっては、教務、担任、授業担当者との連携を図り、スムーズに進行できていた。 感染症予防のために、換気、手洗い、マスクの着用、検温記入・食事を自分の席で速やかに食べる等の呼びかけを放送で行い、感染症対策の意識づけを図った。また毎日放課後に手すりやドアノブ等の消毒を行った。
2. 校舎内外の清掃の徹底を心がける。	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> 年度始め、各清掃箇所の清掃用具の点検を実施した。生徒たちは担当教員の指導のもと、一生懸命、清掃を行う姿が見られた。ただし、ゴミ分別はまだ不十分である。また、必要以上に倉庫に清掃用具を取りにくる生徒が見られた。
3. 保健委員会の活性化を図る。	1 2 3 (4) 5	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断の準備や清掃用具の整理などを行った。 感染症予防のために、昼休みの放送で食事の際の留意点の連絡を行った。
4. 環境衛生、学校安全の維持及び改善を図る。	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> 環境衛生面については計画に基づき、学校薬剤師の検査を実施している。トイレの環境・廊下についてはおおむね良好との評価をいただいた。 1、2学年対象の保健講座については内容・形態等検討中。3学年の外部講師による思春期保健講座は2学期、実施予定。
5. 思春期保健指導を継続し、充実に努める。	1 (2) 3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> 2学期実施予定。学校三師の参加は難しいのが現状である。校内委員会で、生徒の健康課題について協議したい。
6. 学校保健委員会の充実を図る。	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で7月の講習会を12月に延期予定。
7. AED救命講習会の啓蒙を図る。	1 (2) 3 4 5	

令和2年度 部・学年・教科 努力目標等の中間評価

(図書部)

努 力 目 標	達成度（5段階）	中間反省と今後の取り組み・課題
I 図書係		
1 読書意欲を喚起し、読書の習慣化を図る。	1 2 3 (4) 5	① 朝の読書は、ほぼ時間が確保されている。クラス担任・副担任の指導の下、静かに行われている。今後も継続していきたい。
2 蔵書の充実を図り、利用者の増加と貸出数の増加を目指す。	1 2 3 (4) 5	① 統合に伴う蔵書移動を考慮し、例年2回の図書購入を実施していたところを、まとめて1回で購入した。 ② 学級文庫の設置。 ③ 図書館の活性化を目的とした、新刊案内の掲示、図書だより発行、特設コーナーの設置、司書コーナーの設置。
3 図書委員会の活性化を目指す。	1 2 3 (4) 5	① 図書委員によるカウンター当番の徹底。 ② 各種読書アンケートの集計。 ③ 本を紹介するPOPカード制作。
II 視聴覚係		
1 視聴覚機器の点検・整理を実施する。	1 2 3 4 (5)	① 視聴覚室の機器の点検・整備・整理 整頓は定期的に実施している。継続していきたい。
2 視聴覚室の有効利用を目指す。	1 2 3 4 (5)	① 各教科・学年に、視聴覚室の利用を呼びかけ、利用時間の調整を適切に行った。

令和2年度 部・学年・教科 努力目標

(1学年)

努 力 目 標	達成度（5段階）	具 体 的 な 努 力 事 項 等
1. 基本的生活習慣の確立を図る。	1 2 ③ 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察と健康管理の啓発をこまめに行い、欠席、遅刻、早退数の増加を抑制する。 ・服装、頭髪指導を定期的に行い、高校生らしい清潔感を身につけさせる。 ・言葉遣いや挨拶、日常生活におけるマナー等を身につけさせ、社会性を育む。 ・部活動や校外活動（ボランティア）などに積極的に参加させる。 <p>① 皆勤の生徒が多い。早退・遅刻・欠席の多い生徒には情報を提供し改善に取り組む。</p>
2. 学習習慣を形成し、基礎学力の向上と定着を図る。	1 2 ③ 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の効果的な使い方を継続的に指導し、授業に意欲的に取り組む姿勢を育む。 ・週末課題等の確実な提出を促し、学習に対する意識の啓発指導に努める。 ・教科担当者と連絡を密にし、個別的、全体的な学習態度および成績向上のための指導を行う。 <p>① 教科担当者と連絡を密にし、成績不振者の把握、指導に努める。</p>
3. 進路意識を高める。	1 2 ③ 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・LHR、総合探求の時間等を利用し、様々な進路についての情報を提供すると共に、段階的に、進路意識の高揚を図り、学習のモチベーションを高める。 ・小論文講習会、進路ガイダンス等を通して、早期から自分の興味・関心のある分野や、適性について、深く考えさせ、進路意識の向上に努める。 <p>① 三者面談や個人面談を通して、進路意識を高める指導を行う。</p>

令和2年度 部・学年・教科 努力目標等の中間評価

(2学年)

努力目標	達成度（5段階）	中間反省と今後の取り組み・課題
1 基本的生活習慣の確立を図る。	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察と健康管理の啓発をこまめに行っているが、欠席の多い生徒が若干見られる。今後も粘り強く個別に対応する。 ・明るく元気よく挨拶をするのが目標であるが、挨拶はするものの、まだ元気よくとまではいっていない。引き続き、周囲の人達にしっかりと挨拶が出来るよう指導していく。 ・服装、頭髪については大きな問題はないものの、検査の時だけ正す生徒も存在する。常時きちんと姿勢を身につけさせる。 ・清掃を徹底させ、教室や各種施設の美化を言われなくともできるようにする。 ・部活動や校外活動（ボランティア）などに今後とも積極的に参加させる。
2 学習習慣を形成し、基礎学力の向上と定着を図る。	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の効果的な使い方を継続的に指導し、特に移動教室の際の、チャイムとともに授業開始ができるようにしていく。 ・各種課題の提出状況はいいとは言えないで、今後も指導を継続し、学習に対する意識の啓発指導に努める。 ・基礎力診断テスト後のLHRで、自己採点を行うことで、定着を図った。 ・夏季学習として、長期休業中の課題以外の課題を希望者に与え、応用力を養成した。
3 高校生活3年間の流れを意識しながら進路意識を高める。	1 2 3 (4) 5	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部と連携し、進路実現に向けての2学期後半～3学期における進路行事を的確に行っていく。 ・総合的な探求の時間においては、自己探求として自己PR文の作成を行った。引き続き自己の探求を深め、進路に直結するよう志望理由書の作成も行っていく。 ・個別面談を充実させ、個々に応じた生徒に寄り添った進路指導をすすめていく。

令和2年度 部・学年・教科 努力目標等の中間評価

(3学年)

努 力 目 標	達成度 (5段階)	中間反省と今後の取り組み・課題
1 基本的生活習慣の確立を図る(凡事徹底)。	1 2 3 (4) 5	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察と健康管理、体温確認などをこまめにできている。欠席、遅刻、早退も、少なくなっている。 ・言葉遣いや挨拶、日常生活におけるマナー等を粘り強く指導していく。 ・服装、頭髪指導など、大きな問題は見られない。生徒は素直に指導に従っている。 ・清掃活動は、学校全体の美化を意識しながら行えている。 ・部活動や校外活動(ボランティア)は新型コロナウイルスの影響もあり、できなかつた部分がある。
2 学習習慣を確立させ、基礎学力の定着と発展を図る。	1 2 3 (4) 5	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組みは良くなってきたものの、準備や集中が足りない生徒もいる。引き続き指導していきたい。 ・各種課題の提出は、中途半端な生徒も少なからず見られる。徹底させていきたい。 ・ペネッセマナビジョンやG TZを活用したふりかえりは、独自の成績表を作成し、適宜行っている。 ・夏季学習会、個別学習会など、充実させることができている。 ・基礎力診断テストの3年間の蓄積を分析し、各生徒の指導に役立てた。
3 高校生活3年間の流れを意識させて進路意識を高め、各自の進路希望を実現させる。	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスで制約が大きい中であったが、進路指導部と連携し、全体と学年の行事の効果的な組み合わせを練り、系統だった進路指導を行えてきている。 ・学年内で、学年の共通した目標(3年次は生徒の「つづける」)の意識をより高めたい。 ・総合的な学習の時間においては、引き続き個人の進路実現に対する学習を充実させていく。 ・ポートフォリオは毎日書くように粘り強く指導していきたい。 ・個別面談を充実させ、個々に応じた進路指導をすすめていく。

令和2年度 部・学年・教科 努力目標等の中間評価

(国語科)

努力目標	達成度（5段階）	中間反省と今後の取り組み・課題
1 生徒の実態に応じた学習指導と、主体的に学習する態度の育成	1 2 3 ④ 5	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルスの感染に伴って臨時休業となつたが、指導計画を見直し、課題を与えることによって、生徒の学習に大きな支障が出ないように努力した。 ○学習のポイントと学習のし方を示し、『学習課題ノート』から定期考査の問題を出題することで、学習に対する意欲と、授業への参加意欲を高めるように努めた。 ○授業公開週間に授業を公開し、参観した先生方からアドバイスをいただくことで、授業の質の向上に努めた。後期も実施する。
2 基礎的学力の向上	1 2 3 ④ 5	<ul style="list-style-type: none"> ○クラス担任と連携しながら週末課題等の提出率の向上を図ることで、家庭学習の習慣化と基礎学力の向上に努めている。 ○基礎学力が十分でない生徒に対して、普段から声をかけて家庭学習を促し、定期考査の前にも家庭学習を呼びかけている。ワン ウィークトライアルにもしっかりと取り組ませた。
3 作文・小論文指導の充実	1 2 3 ④ 5	<ul style="list-style-type: none"> ○学年、進路指導部、他教科と連携して、生徒の進路希望実現のために必要な文章表現力を身につけさせるよう努めている。 ○作文や小論文指導を通して自分自身を見つめさせるとともに、他者や社会にも目を向けてさせるよう努めている。 ○2・3学年の国語表現において、一人ひとりの個性や進路希望に応じたきめ細かい指導を行っている。

令和2年度 部・学年・教科 努力目標等の中間評価

(地歴・公民科)

努 力 目 標	達成度（5段階）	中間反省と今後の取り組み・課題
1 生徒の実態に応じた授業を実施するための授業の改善工夫をはかる	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の研究授業月間に政治・経済の研究授業を行った。今後の授業に生かしていく。 互見授業の機会は2学期にとる。 特に政治・経済においては2名で授業を開いているため、日々情報共有をしている。
2 校内研修・校外研修を充実させる。	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における大学入試の状況を把握する。 教育センターで実施される研修に参加し、様々な授業手法についての情報を得た。より詳細に情報を収集し、授業に反映させていく。 社会科研究会は中止になったが、研修を通して他校の教員と情報交換をした。
3 個に応じた指導を行い、生徒の個性の伸長を図る。	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> 事前テストを通して論述問題の確認を行った。 夏季休業中の課題は出さなかった。冬季休業については状況を見て判断する。 小論文対策などの依頼が来た際、しっかりと対応できるよう準備をしていく。
4 政治的教養を身につけさせる。	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で予定通りとはいかないが、3学年の消費者講座など、効果的に実施することができている。授業を通して、引き続き政治的教養の醸成に努める。

令和2年度 部・学年・教科 努力目標等の中間評価

(数学科)

努力目標	達成度（5段階）	中間反省と今後の取り組み・課題
1. 基礎学力の定着を図る。	1 2 3 ④ 5	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な題材を使いながら、自ら考えて解決を図れるようにしている。 1、2年生で行っている少人数制での授業では、内容が理解できない生徒への対応がきめ細かくできている。 週末課題は計画通りに出題し、提出するよう指導している。
2. 進路希望を達成できる学力を育成する。	1 2 3 ④ 5	<ul style="list-style-type: none"> 進路に対応した授業展開や長期休業中の課題・補習を実施し、基礎力をつけられるようにしている。 教員間の連携を図り、生徒の進路希望に沿った的確な指導を行っている。 3年生において、受験に数学が必要な生徒には放課後などに個別指導を行っている。
3. 成績不振者への指導を徹底する。	1 2 3 ④ 5	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に学習意欲をもたせることができるよう学年との連携を図りながら、基本内容の定着を図っている。 長期休業を利用し、補習・追試・課題を課すなどして基礎学力の定着を図っている。

令和2年度 部・学年・教科 努力目標等の中間評価

(理 科)

努力目標	達成度（5段階）	中間反省と今後の取り組み・課題
1. 基礎学力の定着と、進路希望に応じた確かな学力の向上に努める。	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・基本事項の振り返りを丁寧に行い、定着を図っている。 ・基本的な公式や計算については、演習を繰り返すことで定着を図っている。 ・3学年生徒に対し、個別指導等により、進路希望に応じた学力の向上に努めている。
2. 生徒の知的好奇心や学習への主体性を喚起させるような授業の実践に努める。	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの感染拡大防止のための休校措置等により、生徒実験はあまり実施できていない。 ・発展的な内容や、今日的な話題についても授業内で適宜取り上げ、生徒的好奇心を刺激するように努めている。
3. 授業の改善工夫をはかり、わかりやすい授業を実践する。	1 2 (3) 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な発問や整理されたわかりやすい板書のための研鑽を積むように努めている。 ・視覚的教材の開発やインターネットの活動をし、指導法の改善を図っている。

令和2年度 部・学年・教科 努力目標等の中間反省

(保健体育科)

努 力 目 標	達成度 (5段階)	中間反省と今後の取り組み・課題
1 健康で安全な生活が自 主的に実践できる能力 と態度の育成に努め る。	1 2 3 ④ 5	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で単元など一部を変更して実施し た。感染拡大防止のため、生徒の三密を避けた授 業を工夫した。 ・教員数の減少によりクラス単独の授業を基本とし た。授業交換もやりやすくなつた。体育科の出張 が重なった場合など、授業売りに出すケースがあ り、学年や教科の先生方に多大な迷惑をかけてし まつた。 ・体育施設の充実については、事務部や校務員さん の働きかけによって内容の濃いものになった。 (プールの塩素やグラウンドの草刈りなど) ・水泳の授業の取り組ませ方を工夫し、見学者を補 充期間に泳がせるようにしたところ、女子生徒の 参加が増えってきた。 ・ジャージの着用と体育館シューズとサンダルの履 き替え、服装や化粧、ピアスなどの指導、用具の 準備、後かたづけ等、身だしなみや道徳的指導は 今後も継続したい。 ・盗難防止のため体育の授業前には各教室・多目 的室を施錠しており、一定の効果は上がっ て いる。今後も継続して指導に当たり、貴重品 の管理を徹底させるよう、注意喚起を行って いきたい。 ・保健では、各教員が生徒の興味、関心が持てるよ うな授業を展開している。今後も継続して、生徒 に健康で安全な生活が実践できる能力と態度を身 につけさせたい。
2 教科体育や運動部活動 の充実に努め、生涯にわ たり自ら進んで運動を計 画的に実践する習慣を育 てる。	1 2 ③ 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・運動部の加入率と部活動を継続している生徒の 割合が低い。生徒の実態に合わせてそれぞれ担 当者が努力しているが、活動人数の減少から活 発な活動ができていない状況である。夏休み以 降、部活動を辞めてアルバイトに流れている生 徒が増えているようである。

令和2年度 部・学年・教科 努力目標等の中間評価

(芸術科)

努力目標	達成度（5段階）	中間反省と今後の取り組み・課題
1. けじめのある授業、わかる授業の実践に努める。	1 2 3 ④ 5	<p>音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 表現活動と併せて、言語活動による感性の深化と知識を系統化する思考力の育成を目指す。 ② ポートフォリオと振り返りによる記録をさせる。 <p>美術</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 道具を丁寧に扱い、迅速に準備と後片付けができるようにさせる。 ② 個別指導を強化し、生徒に合わせた指導を心掛ける。 <p>書道</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 用紙とホワイトボードを使い、理解が具体的に深まるように指導を行っている。 ② 授業ごとに作品を提出させ、朱を入れている。
2. 美しいものを美しいと感じる、個々の素直な感性と豊かな心を育むとともに、自己を表現することのできる能力を身につけさせる。	1 2 3 ④ 5	<p>音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 個別指導による基礎的・基本的な技術の習得。 ② 思いや意図をもって音楽を追求し、価値を判断して良さや美しさを味わいながら音楽と関わる学びを実践する。 <p>美術</p> <ul style="list-style-type: none"> ② 制作や作品鑑賞を通して、生徒の自主性、個性を尊重し、豊かな感性を育む。 ③ 美術に関する専門的な知識や技術を習得し、創造的に表現できるようにする。 <p>書道</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 様々な書道作品・実用書の美に触れさせることで、豊かな感受性を育てるよう努力している。 ② 2学期後半からは、作品作りに取り組ませる。
3. 音楽・美術・書道の持つそれぞれの楽しさを体感させるとともに、その中で体得した「美しさ」を日常生活の中に積極的に活かすことの出来る能力を養う。	1 2 3 ④ 5	<p>音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 他分野との連携を図り、多角的視点から音楽との関わりを持つ。 ② 音楽活動を通して、集団や社会、自然、他人等と自分自身の関わりを意識させる。 <p>美術</p> <ul style="list-style-type: none"> ① アートやデザインに関して、身近にある美に気付かせる。 ② アート、クラフト、デザインなどの制作を通して、日常の中にある芸術を知り、創ることの楽しさを体感させる。 <p>書道</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 身の回りの作品や書に触れることで、様々な表現を学び、自分の表現に生かすよう指導している。 ② 自分の感受性を高め、表現技術を磨くために、優れた作品に触れさせるように留意している。

令和2年度 部・学年・教科 努力目標等の中間評価

(英語科)

努力目標	達成度（5段階）	中間反省と今後の取り組み・課題
1 コミュニケーションを重視した授業の充実と活性化を図る。	1 2 3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の理解を深め、授業内容の検討と精選を行い、生徒の実態を考慮しながらコミュニケーション能力の育成と学力の定着を図る。 1学年の「CE I」及び3学年選択「英語会話」において、週1回ALTとの授業を行い、実践的なコミュニケーション活動を行う。 <p>○基礎力不足の生徒が多く、実践的なコミュニケーション能力の育成には至ってないが、一方で、活動に意欲的に参加する生徒も見られた。今後は生徒の実態に応じた題材を選び工夫していきたい。</p>
2 教材研究の深化を図る。	1 2 3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> 教科会において、研修で得た知識や生徒の情報交換等を行い、生徒の実態に応じた授業の展開を目指した教材研究に努める。 <p>○低得点の生徒の情報交換、資料や生徒の興味関心を促す手助けとなる教材の共有を図ることができ、おおむね良好である。</p>
3 基礎力の養成及び定着と個の希望進路に応じた、より実践的な学力の育成。	1 2 3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に応じたテストの作成を心がける。日々の課題を利用し学び直しの時間を多く確保する。さらに、少人数授業のメリットを最大限に生かせるよう工夫すると共に、週1回ではあるがALTとの連絡を密にし、効果的なTT授業を行う。 <p>○授業中の確認テスト、週末課題、放課後や夏休み中の個別指導を通して学び直しの時間を多く確保することができた。また少人数授業を効果的に活用し、言語活動の機会を多く設けることができている。</p>

令和2年度 部・学年・教科 努力目標等の中間評価

(家庭科)

努力目標	達成度（5段階）	中間反省と今後の取り組み・課題
1 衣食住に関して基本的な知識や技術を身につけ、自身や家族の健康で安全な生活について考え、実践できる力を身につけさせる。	1 ② 3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的な学習を適宜取り入れ、意欲的かつ主体的な取り組みのできる授業を実践する。 ・座学、実験実習、グループワーク、発表など、思考力・判断力・表現力の育成と協働力が育成できる授業を実践する。 <p>→3密を避けながらアクティブ・ラーニングできるよう工夫しているが例年より消極的な授業計画になってしまっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日を守る、物品の保管や丁寧な扱いなど、学習をとおし社会性の育成にも力を入れる。 <p>*作品、提出物の提出率数値目標 100%</p> <p>→1年：製作物の提出率 89% 2年：夏季課題提出率 79%</p>
2 実験・実習指導の充実に努める。	1 2 ③ 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・理論と実験・実習を関連づけ、結果を導くための原理原則、過程の重要性を理解できるような実験・実習を実践する。 ・施設・設備の安全管理に配慮し、事故防止に努める。 <p>→フードデザインの授業において概ね良好。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究と学習評価を実施し、指導方法を改善するとともに、授業の深化を図る。 ・ICTを活用し学習内容の可視化を図る <p>→適宜活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年選択科目で実技テストを実施し、実習内容の定着度を計り、授業改善に取り組む。 <p>*定着度の目安は、全ての生徒がA・B・Cの三段階評価のB以上→履修生徒全てB評価</p>
3 教科指導力の向上を図る。	1 2 ③ 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・研究活動、ボランティア活動、講習会活動など家庭クラブ活動の充実に努める。 ・家庭クラブ活動をとおし、地域社会と積極的に関わり、地域の一員としての自覚を育みながら他者と適切に関わることのできる人材の育成に努める。 <p>→新しい生活様式の中で可能な活動について模索中。</p>
4 学校家庭クラブ連盟の活性化を図る。研究活動、ボランティア活動や講習会の充実に努める。	1 ② 3 4 5	

令和2年度 部・学年・教科 努力目標

(商 業 科)

努 力 目 標	達成度 (5段階)	具 体 的 な 努 力 事 項 等
1. ビジネスに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。	5・4・③・2・1	<ul style="list-style-type: none"> ○ T・TやI C Tを活用し、わかる授業を実践する。 ○ 発問・発言の機会を増やし、生徒の学習内容の理解度を確認する。 ○ 挨拶・身だしなみ・言葉づかいを確認し、コミュニケーション能力を育成する。 (中間反省) ● 学習意欲が乏しい生徒の指導に苦労したが、生徒が自ら課題に取り組み積極的に発言する生徒も見受けられた。
2. 情報処理能力・技術を身につける。	5・4・③・2・1	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術を習得させ、情報の意義や役割について理解させる。 ○ 情報セキュリティ及び情報モラルに関する指導を時事問題から身近に考えさせる。 (中間反省) ● ワープロソフト、表計算ソフトを教材提示装置により指導をし、生徒が自ら課題に取り組み学習する生徒が多く見受けられた。
3. 生徒一人ひとりの進路に即した資格取得の実現を図る。	5・4・3・②・1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会で必要とされる資格であることを認識させ、進路達成の一助となるよう各種検定試験を積極的に受検させる。 ○ 生徒の進路希望の実現に向けて、継続的・支援的指導を行う。 (中間反省) ● コロナにより放課後の課外が不十分であった。 <p>簿記 (100% 1名／1名) 電卓 (100% 1名／1名) ビジネス文書 (60% 3名／5名)</p>